

# 平成21年度 体感!!パークレンジャー通信

## 第1回 きれいな紅葉を守って調べる

平成21年10月17日(土)10:00~15:00

場所:支笏湖ビジターセンター、モラップキャンプ場

VOL.1

平成21年10月

平成21年度 体感!!パークレンジャー



平成21年度体感!!パークレンジャーには札幌、千歳、苫小牧から集った小学生14名が任命されました。「レンジャーの仕事を知り、自然を調査し、自然を守り、ビジターセンターの展示物を作成する」ことが本日の任務です。

参加者は支笏湖自然保護官事務所を見学し、支笏洞爺国立公園の概要と日常の仕事、そして仕事に使う様々な道具について学びました。その後モラップキャンプ場で清掃活動や紅葉の調査、展示物の作成を実施し、展示物をビジターセンターにお渡しして本日の任務を終了しました。



地図を見ながら説明を聞く

### ■自然保護官の仕事を知る■

まずは大きな地図を前に支笏洞爺国立公園について説明を受けます。参加者はその広さに驚いた様子でした。事務所では、山のような文書を収める書庫、環境のことを考えたペレットストーブなどを見学しました。倉庫では特定外来種であるウチダザリガニを捕獲するための仕掛け、鳥インフルエンザに備えた鳥調査キット、草刈り用の大きな鎌など、たくさんの仕事道具があり、自然保護官のお仕事内容とあわせてそれらの使い方まで教えていただきました。



ウチダザリガニ捕獲用仕掛け



ごみ拾い

### ■支笏湖の自然を守る■

モラップキャンプ場ではキャンプ場内を清掃しました。ここで拾うものは「黒いもの」と「白いもの」の2種類に分けられます。「白いもの」は輪ゴムやペットボトルのキャップ、ビニール袋、プラスチック容器、ビンや陶器のかけらなどです。「黒いもの」は禁止されている直火でたき火した跡に残る、たくさんの消し炭です。キャンプ場が閉鎖されてから勝手に入ってたき火をする人もいます。きれいな紅葉に見合うような、美しいキャンプ場になりました。



たき火跡の消し炭



落ち葉のグラデーションづくり

### ■支笏湖の自然の魅力をお伝えする■

- ①紅葉の色の变化を伝えよう  
落ち葉を拾い集め、緑から紅葉するまでを段階的に並べて、紅葉の色の变化の美しさを伝える展示物を作成しました。さらに、落ち葉の標本作製も行いました。
- ②モラップキャンプ場の紅葉情報を伝えよう  
紅葉のきれいなポイントや植物、きのこなどをデジカメで撮影して、プリントアウトした写真に解説を添え、モラップキャンプ場の自然情報をお伝えするインフォメーションカードを作成しました。



完成!